

区分	テーマ	データ
年度推移データ	温室効果ガスの排出	スコープ 1・2・3 の CO ₂ 排出量
	再生可能エネルギーの活用	再生可能エネルギーの自家消費量および外部調達量
	水の使用および排出	取水量、排水量
	環境に配慮した製品の提供	環境配慮製品の販売比率、鉛蓄電池の鉛原材料に占める再生鉛使用量の比率
	環境事故	重大な環境事故の発生件数
	マテリアルフロー I	主要材料・水・エネルギーの使用量、廃棄物・排水・CO ₂ の排出量、使用済み製品の回収量および処分量
	主要原材料の利用	鉛、硫酸、プラスチックの使用量
	水質および水量に関する認可・基準・規則の違反	取水・排水に係る罰則件数および行政処分件数
単年度詳細データ	温室効果ガスの排出および水の利用	生産拠点別の CO ₂ 排出量と取水量
	再生可能エネルギーの活用	所在国別の再生可能エネルギー使用量および CO ₂ 排出削減効果量
	マテリアルフロー II	主要材料・水・エネルギーの使用量、廃棄物・排水・CO ₂ の排出量、使用済み製品の回収量および処分量
	有害物質の排出	日本の PRTR 制度(化学物質排出移動量届出制度)に基づく届出データ
	環境保全コスト	事業エリア内コスト、上・下流コスト、管理活動コスト、研究開発コスト、社会活動コスト、環境損傷コスト
	環境保全対策に伴う経済効果	水使用効率化に伴う経済効果、省エネルギー効果、廃棄物削減効果、再資源化効果
	環境保全効果	再生水使用量、水使用削減量、エネルギー削減量、CO ₂ 削減量、廃棄物削減量、リサイクル量およびリサイクル率、排水削減量、大気および水質への鉛排出量

本資料における対象範囲

(1) 本資料における対象範囲は以下の通りです。

名称	対象
当社	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
当社グループ	全ての連結子会社
国内グループ会社	国内の全ての連結子会社(当社グループの中核事業子会社である「株式会社 G S ユアサ」を含む)
海外グループ会社	海外の全ての連結子会社
個別会社名	特定の会社名が記載されている場合は、当該企業のみを対象とする(「株式会社 G S ユアサ」は当社グループの中核事業子会社を指す)

- 「当社グループ」「国内グループ会社」「海外グループ会社」との表記を用いている場合であっても、適用される法令や管理体制の違いなどの要因により、一部の指標では連結子会社のすべてを網羅していないことがあります。
- 多くの指標については、環境負荷の重要性を考慮し、一定の基準を満たす生産拠点を対象としています。対象となる指標の名称、定義および対象事業所は、以下の通りです。なお、事業所数および対象事業所は、最新年度のデータに基づいています。

名称	対象	事業所数	対象事業所
国内グループ生産拠点	全ての国内グループ連結子会社のうち、現在および将来にわたり環境負荷の大きい生産拠点(年間温室効果ガス排出量 1,000t-CO ₂ 以上など)を指します。	9	(株) G S ユアサ(京都、長田野、群馬、栗東、川越)、(株) G S ユアサ エナジー、(株) G S ユアサ 茨城、(株) G S ユアサ モールディングス、(株) G S ユアサ 安曇野
海外グループ生産拠点	全ての海外グループ連結子会社のうち、現在および将来にわたり環境負荷の大きい生産拠点(年間温室効果ガス排出量 1,000t-CO ₂ 以上など)を指します。	13	台湾杰士電池工業股份有限公司, GS Battery Vietnam Co., Ltd., GS Yuasa Battery Malaysia Sdn. Bhd., PT. Trimitra Baterai Prakasa, PT. Yuasa Battery Indonesia, Siam GS Battery Co., Ltd., Yuasa Battery (Thailand) Pub. Co., Ltd., GS Yuasa Siam Industry Ltd., Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirket, GS Yuasa Battery Manufacturing UK Limited, Yuasa Battery, Inc., Century Yuasa Batteries Pty Ltd., GS Yuasa Hungary Ltd.
当社グループ生産拠点	全ての連結子会社のうち、現在および将来にわたり環境負荷の大きい生産拠点(年間温室効果ガス排出量 1,000t-CO ₂ 以上など)を指します。	22	上記の全ての事業所

- 「国内グループ生産拠点」の各年度における対象事業所数は以下の通りです。

年度	事業所数	内訳	
		(株)G S ユアサ	国内主要子会社
2021 年度	7	5	2
2022 年度	8	4	4
2023 年度	9	5	4
2024 年度	9	5	4
2025 年度	9	5	4

- (2) 環境会計に関する情報(環境保全コスト、環境保全対策に伴う経済効果、環境保全効果)については、環境会計ガイドライン 2005 年版(環境省発行)を参考に開示しています。
- (3) すべてのデータは定期的に見直しを行い、その結果を反映した上で開示しています。また、対象範囲の変更が生じた場合には、必要に応じて過去の実績値も遡及的に修正しています。

温室効果ガス排出量について

- (1) CO₂ 以外の温室効果ガスについては、当社グループの事業活動との関連性が小さく、排出量が極端に少ないため、算定対象外としています。
- (2) スコープ 2 排出量は、マーケット基準(購入電力の契約内容および再生可能エネルギーの調達量を反映して算出する手法)により算出した値を開示しています。
- (3) スコープ 2 排出量の算出における換算係数は次の公表値を使用しています。なお、再生可能エネルギー由来の電力については、排出係数をゼロとして設定しています。

国内グループ生産拠点	地球温暖化対策推進法に基づいて公表される各電力会社の年度ごとの係数
海外グループ生産拠点	IEA(国際エネルギー機関)が発行する「Emissions Factors」で公表される年度ごとの係数

- (4) スコープ 3 排出量は 2021 年度より算定を開始しています。
- (5) スコープ 3 排出量については、カテゴリーごとに対象範囲を明示しています。
- (6) 当社グループの温室効果ガス排出量データおよびエネルギー使用量データは第三者検証を受けています。

温室効果ガス(CO ₂)の排出			単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
スコープ 1	化石燃料の燃焼などによる直接排出		t-CO ₂	66,734	64,547	57,641	57,966	56,085	当社グループ生産拠点
スコープ 2	購入した電力などの使用に伴う間接排出		t-CO ₂	280,982	245,814	268,054	256,076	245,592	
スコープ 1+2	排出量		t-CO ₂	347,717	310,362	325,695	314,042	301,677	
	2018 年度比排出削減率		%	6.8	16.8	12.7	15.8	19.1	
スコープ 3	カテゴリ-1	購入した物品、サービス	t-CO ₂	471,173	523,813	560,759	940,714	1,065,092	(株)GSユアサ(製品の製造に直接関連する物品)
	カテゴリ-2	資本財	t-CO ₂	45,615	89,778	135,092	160,843	148,797	当社グループ
	カテゴリ-3	スコープ 1、2 に含まれない燃料 およびエネルギー関連活動	t-CO ₂	61,314	59,720	59,433	60,331	56,596	当社グループ生産拠点
	カテゴリ-4	輸送・配送(上流)	t-CO ₂	9,484	8,702	8,039	7,979	8,267	(株)GSユアサ(特定荷主 ^{*1} に係る貨物輸送に限定)
	カテゴリ-5	事業から出る廃棄物	t-CO ₂	1,089	1,226	1,322	1,408	1,544	国内グループ生産拠点
	カテゴリ-6	出張	t-CO ₂	732	785	867	881	1,000	
	カテゴリ-7	雇用者の通勤	t-CO ₂	2,103	2,283	2,533	2,562	2,942	
	カテゴリ-12	販売した製品の廃棄	t-CO ₂	—	18,048	17,930	18,412	19,478	(株)GSユアサ(製造した鉛蓄電池の廃棄)
	合計	スコープ 2 以外の間接排出量		t-CO ₂	591,510	704,355	785,975	1,193,130	1,303,715

^{*1} エネルギーの使用の合理化などに関する法律に基づく年間貨物輸送量が 3 千万トンキロを超える荷主

再生可能エネルギーの活用		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
自家発電		MWh	2,367	3,472	7,479	12,524	13,098	当社グループ生産拠点
外部調達		MWh	43,641	106,118	94,358	120,596	128,932	
合計		MWh	46,008	109,590	101,837	133,121	142,029	
全エネルギー使用量に占める再生可能エネルギーの割合		%	4.5	11.0	10.6	13.6	14.6	

水の使用および排出		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
取水 ^{*2}	工業用水(第三者の水)	千m ³	2,245	2,117	2,093	2,102	1,811	当社グループ生産拠点
	地下水	千m ³	1,508	1,440	1,536	1,544	1,369	
	上水(第三者の水)	千m ³	832	795	791	800	755	
	合計	千m ³	4,585	4,352	4,420	4,446	3,935	
	2018 年度比削減率	%	12.0	16.5	15.2	14.7	24.5	
排水 ^{*3}	河川	千m ³	1,839	1,738	1,800	1,904	1,730	当社グループ生産拠点
	下水道	千m ³	1,840	1,696	1,701	1,682	1,443	
	合計	千m ³	3,679	3,434	3,501	3,586	3,172	

^{*2} 本表以外の水源からの取水はありません。

^{*3} 事業所から海洋や事業所外の水処理施設への放流はありません。

環境データ – 年度推移データ

環境に配慮した製品の提供	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
環境配慮製品の販売比率	%	36.5	36.4	38.7	36.7	39.2	当社グループ
鉛蓄電池の鉛原材料に占める再生鉛使用量の比率	%	63.0	56.3	65.6	72.3	75.2	当社グループ

環境事故	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
重大な環境事故の発生件数	件	0	0	0	0	0	当社グループ

マテリアルフロー I			単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
INPUT	主要材料	鉛、硫酸、樹脂など	t	188,020	186,298	193,473	199,824	215,527	国内グループ生産拠点(物流に係るパフォーマンスは(株)G S ユアサのみ対象)
	水	工業用水、地下水、上水	千m ³	2,348	2,257	2,381	2,418	2,327	
	エネルギー (原油換算)	生産	kL	98,869	99,872	100,758	91,855	94,684	
		物流	kL	3,598	3,302	3,040	3,014	3,124	
	使用済み製品	回収量	t	4,773	4,573	4,515	4,944	6,069	
OUTPUT	廃棄物	再資源化量	t	12,083	12,625	13,634	15,079	15,360	
		最終処分量	t	504	633	625	561	1,052	
	排水	河川、下水道	千m ³	2,020	1,961	2,034	2,025	2,005	
	温室効果ガス (CO ₂)	生産	t-CO ₂	134,505	109,634	133,325	151,135	163,248	
		物流	t-CO ₂	9,484	8,702	8,039	7,979	8,267	
	使用済み製品	再資源化量	t	3,952	3,782	3,733	4,093	5,186	
		最終処分量	t	822	791	782	851	883	

主要原材料の利用	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
鉛	t	139,669	134,251	139,087	143,162	158,127	国内グループ生産拠点
硫酸	t	30,899	29,286	29,193	30,698	31,257	
プラスチック	t	13,351	13,493	14,591	13,193	13,259	

水質および水量に関する 認可・基準・規則の違反		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対象範囲
罰則を伴う法令違反件数	取水	件	0	0	0	0	0	国内グループ生産拠点
	排水	件	0	0	0	0	0	
行政処分件数	取水	件	0	0	0	0	0	
	排水	件	0	0	0	0	0	

当社グループ生産拠点における温室効果ガスの排出および水の使用(2025 年度)

生産拠点別の CO ₂ 排出量、取水量		CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)		取水量 (千m ³)	
所在国	拠点				
日本	株式会社 G S ュアサ(京都、長田野、群馬、栗東、川越)	127,270	163,248	1,301	2,327
	株式会社 G S ュアサ エナジー	26,674		782	
	株式会社 G S ュアサ茨城	4,626		161	
	株式会社 G S ュアサ モールディングス	2,827		38	
	株式会社 G S ュアサ 安曇野	1,851		45	
台湾	台湾杰士電池工業股份有限公司	14,726	14,726	86	86
ベトナム	GS Battery Vietnam Co., Ltd.	3,322	3,322	169	169
マレーシア	GS Yuasa Battery Malaysia Sdn. Bhd.	2,250	2,250	18	18
インドネシア	PT. Trimitra Baterai Prakasa	22,415	49,825	111	241
	PT. Yuasa Battery Indonesia	27,410		130	
タイ	Siam GS Battery Co., Ltd.	6,101	16,217	322	474
	Yuasa Battery (Thailand) Pub. Co., Ltd.	6,354		119	
	GS Yuasa Siam Industry Ltd.	3,761		33	
トルコ	Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketi	29,571	29,571	450	450
イギリス	GS Yuasa Battery Manufacturing UK Limited	4,334	4,334	70	70
アメリカ	Yuasa Battery, Inc.	7,630	7,630	45	45
オーストラリア	Century Yuasa Batteries Pty. Limited	10,431	10,431	52	52
ハンガリー	GS Yuasa Hungary Ltd.	122	122	1	1

当社グループ生産拠点における再生可能エネルギーの活用(2025 年度)

所在国別の再生可能エネルギー使用量	区分	電力量 (MWh)	削減効果量 (t-CO ₂)
日本	自家発電	5,239	2,182
	外部調達	36,512	15,374
アメリカ	自家発電	255	84
イギリス	外部調達	2,156	377
ハンガリー	外部調達	264	54
タイ	自家発電	7,324	3,164
	外部調達	52,000	22,464
ベトナム	自家発電	142	79
	外部調達	38,000	21,204
インドネシア	自家発電	137	103

国内グループ生産拠点におけるマテリアルフロー(2025 年度)

マテリアルフローⅡ		項目	単位	内容	実績	備考
INPUT	製造	主要材料使用量	t	新規材料	105,885	鉛、硫酸、プラスチックなど
				再生材料	109,642	
		取水量	千 m³	工業用水	1,069	第三者の水
				地下水	975	
				上水	283	第三者の水
		エネルギー使用量(原油換算)	kL	電気	80,768	
				都市ガス	10,752	
				液化石油ガス	2,992	
				灯油、揮発油、軽油	172	
	輸送	エネルギー使用量(原油換算)	kL	揮発油、軽油	3,124	貨物輸送量に基づくエネルギー使用量
	廃棄	使用済み製品の回収量	t	産業用電池、電源装置	6,069	
OUTPUT	製造	廃棄物排出量	t	廃極板、廃電池、廃ペースト	5,051	
				金属屑	440	
				リチウムイオン電池	4,902	
				紙屑、生ごみ	1,106	
				汚泥	1,755	
				廃酸、廃アルカリ	869	
				廃プラスチック	1,069	(株)G Sユアサにおける排出量: 478t
				木屑	658	
				その他	561	
		再資源化量(廃棄物)	t	廃極板、廃電池、廃ペースト	5,051	
				金属屑	440	
				リチウムイオン電池	4,902	
				紙屑、生ごみ	995	
				汚泥	1,124	
				廃酸、廃アルカリ	802	
				廃プラスチック	947	
				木屑	563	
				その他	535	
		最終処分量(廃棄物)	t	廃極板、廃電池、廃ペースト	0	
				金属屑	0	
				リチウムイオン電池	0	
				紙屑、生ごみ	112	
				汚泥	631	
				廃酸、廃アルカリ	67	
				廃プラスチック	122	
				木屑	95	
				その他	25	
		排水量	千 m³	公共用水域	1,235	河川
				下水道	771	
		CO₂ 排出量	t-CO₂	電気	134,214	スコープ 2 排出量
				都市ガス	21,647	スコープ 1 排出量
				液化石油ガス	6,929	
				灯油、揮発油、軽油	457	
	輸送	CO₂ 排出量	t-CO₂		8,267	スコープ 3 排出量(カテゴリ 4)
	廃棄	再資源化量(使用済み製品)	t		5,186	
		最終処分量(使用済み製品)	t		883	

国内グループ生産拠点における有害物質の排出状況(2025 年度)

有害物質排出量	事業所	単位	大気への排出	公共用水域への排出	下水道への移動	事業所外への移動	合計
鉛およびその化合物	京都	kg	120.0	0.0	4.3	15,000.0	15,124.3
	長田野	kg	31.0	0.0	6.0	1,500.0	1,537.0
	群馬	kg	18.0	3.3	0.0	71.0	92.3
	G S ユアサ エナジー	kg	9.0	13.0	0.0	3,100.0	3,122.0
	G S ユアサ 茨城	kg	1.0	1.4	0.0	30.0	32.4
	G S ユアサ 安曇野	kg	6.7	0.0	0.0	11.0	17.7
砒素およびその無機化合物	京都	kg	2.6	0.0	0.4	4.2	7.2
	群馬	kg	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5
	G S ユアサ エナジー	kg	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
アンチモンおよびその化合物	京都	kg	9.3	0.0	0.4	1.9	11.6
	長田野	kg	0.0	0.0	4.1	0.0	4.1
	群馬	kg	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8
	G S ユアサ エナジー	kg	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
マンガンおよびその化合物	京都	kg	0.0	0.0	0.0	1,500.0	1,500.0
	長田野	kg	10.0	0.0	0.0	0.3	10.3
	栗東	kg	0.0	0.0	0.0	1,100.0	1,100.0
ニッケル化合物	京都	kg	0.0	0.0	0.0	3,100.0	3,100.0
	長田野	kg	3.4	0.0	0.0	0.5	3.9
	栗東	kg	0.0	0.0	0.0	2,300	2,300
コバルトおよびその化合物	京都	kg	0.0	0.0	0.0	960.4	960.4
	長田野	kg	0.3	0.0	0.0	0.3	0.6
	栗東	kg	0.0	0.0	0.0	840.0	840.0
塩化メチレン(ジクロロメタン)	G S ユアサ 茨城	kg	1,900.0	0.0	0.0	48.0	1,948.0
N,N-ジメチルホルムアミド	G S ユアサ モールディングス	kg	3.0	0.0	480.0	1,800.0	2,283.0
ほう素化合物	長田野	kg	2.5	0.0	0.0	2.5	5.0
N-メチル-2=ピロリドン	京都	kg	15,000.0	0.0	0.0	5,848.0	20,848.0
	長田野	kg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栗東	kg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ジエタノールアミン	長田野	kg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アクリル酸およびその水溶性塩	G S ユアサ モールディングス	kg	42.0	0.0	0.0	200.0	242.0
テトラヒドロフラン	G S ユアサ モールディングス	kg	20,000.0	0.0	0.0	1,600.0	21,600.0

参考：本表は、PRTR 制度(化学物質排出移動量届出制度)に基づく対象物質の排出および移動状況を取りまとめたものです。

国内グループ生産拠点における環境会計の状況(2025 年度)

環境保全コスト		主な取り組みの内容	金額(千円)	備考
事業エリア内コスト	公害防止コスト	大気汚染防止に関する活動	791,530	環境保全設備コスト(構内関連企業を除く)など
		水質汚濁防止に関する活動	1,800,311	
	地球環境保全コスト	温暖化ガス排出削減に関する活動	204,188	
	資源循環コスト	廃棄物の適正処理に関する活動	357,896	
	合計		3,153,925	
上・下流コスト		環境負荷低減のための追加的活動	14	コンサルタント費用および容器包装リサイクル法による再商品化委託料など
管理活動コスト		社員教育・ISO 14001 維持管理活動	2,240	
研究開発コスト		環境に配慮した研究開発活動	9,935,000	
社会活動コスト		環境に関するボランティア活動	5,135	
環境損傷対応コスト		土壌汚染対策に関する活動	5,697	
合計			13,102,011	

環境保全対策に伴う経済効果	主な項目	金額(千円)	備考
水使用効率化に伴う経済効果	取水量、排水量の削減金額	-10,032	前年比コスト削減値(負の値はコスト増加を表す)
省エネルギー効果	電気・重油・ガス(都市ガス・LNG・LPG)の削減金額	-61,419	
廃棄物削減効果	産業廃棄物の処理費用削減金額	4,642	
再資源化効果	廃棄物の再資源化・再利用に貢献した金額	815,320	

環境保全効果	主な項目	単位	物量	備考
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	再生水使用量	千 m ³	981	前年比環境負荷削減値(負の値は環境負荷の増加を表す)
	水使用削減量	千 m ³	91	
	エネルギー削減量(原油換算)	kL	-2,829	
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 削減量	t-CO ₂	-12,113	前年比環境負荷削減値(負の値は環境負荷の増加を表す)
	排出廃棄物削減量(最終処分量)	t	-491	
	排水削減量	千 m ³	20	
	排出廃棄物のリサイクル量	t	15,360	
	リサイクル率	%	94	リサイクル率 = (リサイクル量 / 廃棄物排出量)×100
	[水質] 排出鉛量	kg	28	
	[大気] 排出鉛量	kg	186	